

汚れの基礎知識

効率よくそうじをするためには、汚れの種類を知って、それに合わせたそうじ法を選ぶのが一番です。軽い汚れのうちなら、手間も少なく材質や環境への悪影響も防げて一石二鳥。水まわりの代表的な汚れを紹介します。

白っぽい水あか



場所：水栓金具の先端やシンク、吐水が落ちるところ、便器の内側など。
原因：水道水に含まれるカルシウムやマグネシウムが、水分の蒸発後に残ってできる。
対処法：中性洗剤で落とし、水拭き+から拭き。頑固な汚れはスポンジにクリームクレンザーかきりあ水栓金具用蛇口まわりのクリーナー(P15)、トイレのクリーナー陶器用(P15)をつけて磨き、水拭き+から拭き。

白っぽいざらざら



場所：手洗いボウルや洗面ボウル、浴槽の縁。
原因：「金属せっけん」というもので、せっけんや体の脂肪分が水道水中の金属と反応してできる。
対処法：中性洗剤で落とし、水拭き+から拭き。頑固な汚れはスポンジにクリームクレンザーをつけて磨き、水拭き+から拭き。

ピンク色の汚れ



場所：トイレや洗面台の排水口や便器の内側、浴室の床や壁。
原因：せっけんやあかなどを栄養源として、水の中の細菌(バクテリア)が繁殖したもの。
対処法：中性洗剤で落とし、水拭き+から拭き。栄養源となるせっけんかすなどを残さない。

黒ずみ



場所：便ふたや便座。
原因：静電気で吸い寄せられた洋服の繊維やトイレットペーパーのチリが、ホコリと結合してできる。
対処法：十分に絞った柔らかい布で水拭き。時々ウォシュレットクリーナーきりあ(P15)かトイレ用中性洗剤を使う。から拭きは静電気を起こしやすくなる。この汚れに小水が飛び散ったりすると落ちにくい汚れになるので注意。

黒や紫、ピンクのカビ



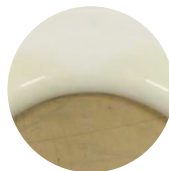
場所：浴室の床や壁、キッチンカウンターの境目に使われるシリコンシール材、便器の内側など。
原因：湿度が高い場所で、せっけんやあか、汚れを栄養源に繁殖。
対処法：中性洗剤で落とす。頑固な汚れにはカビ取り剤が効果的(使用法は商品の注意書きを参照)。シリコン材には割り箸の先に布を巻きつけたものに住宅用弱アルカリ性洗剤をつけてこすり、水拭き+から拭きをする。

もらいさび



場所：浴槽や洗面台、キッチンのカウンターなど。
原因：ぬれたヘアピン、カミソリ、スプレー缶などをカウンターに放置したため。
対処法：スポンジか歯ブラシにクリームクレンザーをつけて、表面を傷つけないように落とし、水拭き+から拭き。

光沢のくすみ



場所：操作パネルやドアノブ、肌が直接触れる便座など。
原因：肌が直接触れる部分は皮脂汚れがつきやすく、ぬるぬるしたり、光沢がなくなったりする。そこにホコリが付くと、黒ずみの原因に。
対処法：十分に絞った柔らかい布で水拭き。

ヌメリ



場所：排水口や排水口トラップ、ゴミ収納バスケットなど。
原因：細菌やカビなどの微生物がかたまりになってできる。
対処法：中性洗剤をつけて洗う。細かいところは歯ブラシなどを利用する。こまめに汚れを落として、栄養源を絶つ。